

2. 特別養護老人ホーム晴山苑

概要

基本方針

1. 特別養護老人ホーム
2. ショートステイサービス
3. デイサービス
4. 訪問介護
5. 居宅介護支援事業所

コンプライアンス活動計画

行事計画・会議、委員会計画・研修計画

特別養護老人ホーム 晴山苑

令和2年度 事業計画

概要

特別養護老人ホーム晴山苑は、昭和52年3月16日に開設し、現在は特別養護老人ホームの他にショートステイサービス、デイサービス、訪問介護、居宅介護支援事業所の各種在宅介護サービスを併設しております。千葉市ならびに隣接する八千代市、習志野市等地域にお住まいの高齢者の方を対象に「必要とされるサービス」を「必要とされる時」に「必要とされる場所」で「ご利用者の皆様の満足感・安心感・信頼感の得られる介護サービス」を一体的に提供することを第一義としています。

基本方針

- ご利用者の身になって、「思いやり」・「いたわり」・「気配り」の行き届いた家庭的な接遇を実践します。
- 職場には、向学心・向上心に応えうる勉学・研修の機会を十分に確保し、チームワークと家庭的な雰囲気重視した職場づくりを進めます。

1. 特別養護老人ホーム

令和2年度は令和3年度の介護報酬改定に向けての準備期間となり、自立支援介護の実現と成果型報酬への移行が予想されます。今以上に質の高いサービスや専門職としての知識や技術が求められます。また、介護ロボットやICTを促進し、来るべき2025年に備えなければなりません。

そこで令和2年度は、特別養護老人ホームと併設する在宅系サービスが連携を密にし、介護保険の理念や目的を踏まえ、安心・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスを提供し、地域福祉の拠点となるべく努めて参ります。

1) 施設稼働率の維持

特別養護老人ホーム晴山苑の令和元年度施設稼働率は97.2%(令和2年1月末時点)と、前年度95.6%から向上いたしました。令和2年度は下記の対策を実施し、稼働率96.5%以上を維持することを目標として取り組んでいきます。

(1) 肺炎・誤嚥性肺炎に伴う入院者の減少

令和元年度の入院者の内20名(54.1%)は肺炎・誤嚥性肺炎で入院しています。

入院日数は379日(総入院日数の63.9%)と長期間に及ぶ為、肺炎予防は稼働率維持に必須であり以下の対策を講じて入院者数の減少に努めます。

- ①食事介助技術及び口腔ケア技術の向上とケアの徹底
- ②身体機能向上のための離床時間確保
- ③肺炎球菌ワクチンの予防接種

(2) 入退所に伴う空床期間の削減

令和元年度の入退所に伴う平均空床期間は 11.1 日でした。空床期間の目標を 10 日とし、以下の対策を講じて目標達成に努めます。

- ①需要予測に応じた入所待機者(順位決定者)の確保
- ②本人や家族の準備期間を確保するため、事前説明を実施
- ③待機者確保のため、医療ニーズ(喀痰吸引・看取り・透析等)のある利用者の受け入れ体制の充実

2) 介護職員・看護職員の確保

特別養護老人ホーム入所部門の介護職員数は利用者対比 2.44 対 1(令和 2 年 1 月現在)と、平成 30 年度と同程度の人員配置を維持することが出来ました。ただし、家庭の都合等により退職する職員が複数名いること、派遣職員を利用していることによる人件費の圧迫なども勘案すると、職員の確保に力を入れる必要があります。そのため、職員確保につながる下記の取り組みを実施していきます。

(1) 大学・専門学校・高校への求人票提出

- ①大学共通求職サイトなどを活用
- ②各種福祉系専門学校や近隣高等学校に求人票を提出

(2) 就職説明会等への参加

- ①千葉県内各地で開催される就職フェアや企業説明会に参加

(3) 人材紹介・外国人の活用

- ①在職職員からの紹介
- ②ハローワーク等各種人材紹介業者の活用
- ③技能実習生の受け入れ

3) 介護職員の力量及び生産性の向上

介護職員不足の中で良質な介護サービスを提供し続けていく為には、職員の力量及び生産性を向上させることが大切です。職員の力量を向上させることは、良質なサービス提供ができるほか、加算の算定にもつながります。生産性を向上させることは、介護職員不足を補えるほか、派遣職員費の軽減を図れます。そこで令和 2 年度は下記の内容について取り組み、力量及び生産性の向上を図っていきます。

(1) 職員の力量向上

- ①介護福祉士取得に向けた、介護職員初任者研修や実務者研修の受講推進
- ②新人職員に対する教育の見直しとフォローアップ研修の実施
- ③中堅職員の役割見直し
- ④認知症に関する研修の受講

(2) 生産性の向上

- ①自立支援介護の実践
- ②業務の再確認と効率化
- ③見守りカメラの追加導入
- ④介助員の有効活用

4) 利用者満足度向上につながる、良質な介護サービスの提供

近年、介護職員不足などの理由により、提供するサービスが画一的となっていました。その結果、利用者満足度調査において、個別ケアについての要望が多く挙げられております。そこで、令和2年度は個別ケアに重点を置き、下記の取り組みを実施していきます。

(1) 個別ケアサービスの提供

- ①利用者一人ひとりのニーズを把握
- ②個別のニーズに基づいた介護サービスの提供
- ③個別のニーズに基づいたレクリエーション活動の実施

5) 施設整備に関する計画

特別養護老人ホーム晴山苑は創設43年目を迎えます。建物は築34年の旧棟と築20年の特養棟があり、どちらも老朽化に伴う修繕が必要です。改修や設備更新は高額な費用である為、平成30年度より、修繕計画策定委員会を立ち上げ検討を重ねて参りました。そこで検討された改修・設備更新についての優先度をもとに、以下の取り組みを行って参ります。また、令和元年度の台風を教訓に、非常用発電機整備事業を進めて参ります。

(1) 設備更新

- ①居室照明のLED化
- ②自動扉の保全修理
- ③居室吊り下げドアの点検・修理
- ④非常用発電機整備事業

2. ショートステイサービス

令和元年度は、稼働率94.0%（令和2年1月末までの平均）前年度の稼働率97.0%と比べ3.0%低下しました。令和2年度は、稼働率97.0%を目標に、以下を重点施策とします。

1) 稼働率の向上

(1) ケアマネジャーとの信頼関係の構築及び新規利用者の獲得

①居室支援事業所への定期訪問

ケアマネジャーと関わる機会を増やし、当苑の情報を提供することで信頼関係を構築

②新規事業所の開拓

訪問営業により、当苑を知ってもらうことで新規利用者の獲得

(2) 柔軟な受け入れ体制の整備

①特別養護老人ホーム入所部門との連携強化

入所部門との更なる連携を図り、特養の空床を利用し急な受け入れに対応

②職員の連携強化

重度の認知症状や医療ニーズの高い利用者に対し、職員間で連携し柔軟な受け入れ対

応

(3) 長期間利用者の入院の減少

入院予防は稼働率向上に必須であり以下の対策を講じて入院者数の減少に努めます。

- ①アセスメントの強化
身体面、医療面、精神面の情報を収集力の向上
- ② 観察力、判断力の向上

(4) 良質なサービスの提供

繰り返し利用したいと思える事業所を目指すため、以下の取り組みを実施して参ります。

- ①個別ケアの徹底
職員間で利用者の情報共有を図り、個別ケアの徹底
- ②自宅での生活の継続
住み慣れた自宅での生活を意識したサービス提供
- ③チームケア
定期会議にて情報共有、職種間の連携を図り、目指すべき目標に対し意識の統一
- ④介護負担の軽減
利用者の急な体調変化も看護師と連携して柔軟に対応し、利用者の家族の身体的及び精神的負担を軽減
- ⑤業務マニュアルの見直し
業務内容の見直しを図り業務を効率化する事で、利用者の訴えに耳を傾ける時間の増加

(5) 介護職員の力量向上

- ①介護福祉士取得に向けた、介護職員初任者研修や実務者研修の受講推進
- ②外部研修の参加
- ③内部研修の定期開催

2) 施設整備に関する計画

(1) 設備更新

- ①居室照明のLED化
- ②自動扉の保全修理
- ③ 居室吊り下げドアの点検・修理
- ④非常用発電機整備事業

3. デイサービス

令和元年度は、平均利用者数 24.8 名（平成 29 年度 27.5 名、平成 30 年度 26.6 名、）の実績となりました。新たな取り組みを数多く取り入れ、ホームページでの掲載やご家族や居宅介護支援専門員にデイサービスでの様子のわかる写真を配布した結果、利用者だけでなく、家族や居宅介護支援専門員からも高い満足度を得ることができました。

令和 2 年度は、晴山苑の理念を忘れず、より多くの新規利用者を獲得する為に、以下の 5 点を重点施策とします。

- 1) 利用者増加の為の介護支援専門員との信頼関係の構築及び営業強化
 - (1) 定期的な居宅支援事業所への訪問
 - ①定期的に事業所へ訪問し、利用者の状況を報告
 - ②レク活動やリハビリの報告を、写真等を活用し分かりやすく報告
 - (2) 日々の報告
 - ①利用者の日々の変化の報告を、電話やファックスを使用し毎日行う。
 - (3) 振替利用の受け入れ
 - ①急な利用日の変更依頼にも迅速に対応
 - ②振替利用、追加利用の促進
 - (4) ホームページの活用
 - ①デイサービスで行われるイベント等の配信
- 2) 業務の効率化
 - (1) マニュアルの見直し
担当別の1日の業務の流れを見直し、より効率的に業務を行う事により利用者とのコミュニケーションに係る時間を増やし、利用者満足度、職員満足度の向上
 - (2) 超勤の削減
職員の疲労やストレスを解消し、毎日笑顔で業務を行える環境作り
- 3) 施設整備に関する計画
 - (1) 設備更新
安全・安心な送迎の為、スタットレスタイヤの購入
 - (2) 老朽化した施設の整備
デイサービス棟は築34年となり、内装の劣化等、設備に不具合が生じています。
利用者に快適な時間を過ごしていただく為に、修繕を検討
 - (3) 非常用発電機整備事業
- 4) サービスの質の向上
 - (1) 内部研修の参加
介護の基礎知識を繰り返し学び、利用者の自立支援について考える力を育成
 - (2) 外部研修の参加
生活相談員の提案力、解決力、報告力を磨き、信頼の事業所作り
 - (3) 意識の向上
デイサービスの知識、技術において、職員一人ひとりがデイサービスのプロとしての意識を持ち、介護支援専門員と連携
- 5) 利用者満足度の維持・向上
 - (1) ボランティアの活用
囲碁、将棋の相手、視覚障害者への朗読、デイサービスのイベント開催
 - (2) アクティビティーの充実
 - ①おやつ作りの実施
 - ②大運動会の開催

- ③買物デイの実施
- ④夏祭りや秋祭りの実施
- ⑤苑庭や花島公園を利用した青空体操の実施
- ⑥発表会や展示会の開催
- ⑦野菜作り、グリーンカーテン作り、花の栽培の実施
- ⑧敏捷性の向上や認知症予防のためのグループレクリエーションの導入

4. 訪問介護

令和元年度は、平均利用者数 13.0 名（令和 2 年 1 月末まで）、平成 30 年度 17.3 名（平成 31 年 1 月末まで）の実績となりました。訪問介護員については近年全産業平均に比べ有効求人倍率が 13.1 倍と急速に高まっており、全国の訪問介護員の 50%以上が 50 歳以上となっています。限られた人材で利用者のニーズに対応していくためには、それぞれの介護職の有する知識・技術を効果的・効率的に活用していくことが重要となってきます。そこで令和 2 年度は、「信頼されるヘルパーステーション」を目標に、以下 2 点を重点施策とします。

1) サービスの質の向上

(1) 内部・外部研修の参加

- ①利用者の尊厳と自立の支援にむけて、利用者本位の介護の徹底
- ②観察力、判断力、業務遂行力、職種連携力の向上
- ③サービス提供責任者の介護計画に沿った介護の提供の把握と向上・改善に向けた対応力、多職種・他機関との連携力の向上

(2) 介護技術向上の為に OJT 指導

2) 利用者満足度の維持・向上

- (1)「思いやり」「いたわり」「気配り」の行き届いた家庭的な接遇の実施
- (2)利用者一人ひとりのニーズを把握し、適切なサービスの実施
- (3)専門職として家族の介護負担の軽減に資する助言の実施

5. 居宅介護支援事業所

現在、晴山苑居宅介護支援事業所は 6 名体制、こてはし台居宅介護支援事業所は 3 名体制となっています。令和 3 年に予定される制度改正における議論の中で、ケアマネジメント能力の向上を求める内容が数多く取り上げられています。5 年後には介護保険の総費用がスタート時の 4 倍超と予測される中、益々個々のスキル研鑽が求められています。

今後も質の高いケアマネジメントを維持する為に、令和 2 年度は下記の 4 点に重点をおき、事業を図って参ります。

1) ケアマネジメントの質の維持・向上

- (1) 外部研修への参加
- (2) 定期的な事業所内研修の継続

2) 地域包括システムの推進

自宅で自分らしい生活が継続的に送れるように支援します。

- (1) 医療・介護サービスとの連携を強化
- (2) 高齢者の相談や適切なサービスのコーディネート

3) 利用者満足度の維持・向上

- (1) 利用者満足度調査の実施
- (2) 結果に対して適切な対応と分析

4) 利用者数の安定確保

- (1) 病院・あんしんケアセンターと連携

コンプライアンス活動計画

晴山会コンプライアンスマニュアルに則り、基本姿勢、基本原則を遵守し、介護保険法令や労働基準法令に基づいて施設運営が行えるよう、日々の業務を通じて確認を行います。また、研修等を通じて各法令について学習し、法令遵守の徹底を図ります。

行事計画・会議、委員会計画・研修計画

	行事	研修	会議・委員会
4月	花島観音祭 日本舞踊 民謡クラブ 講談 車椅子ダンス キーボード演奏 買物DAY 認知症予防音楽体操	新規採用職員研修 倫理規定研修 高齢者虐待防止研修	会議 [月1回開催] 施設運営会議 ケアリーダー会議
5月	菖蒲湯 千葉市動物公園外出 避難訓練 職員健康診断 踊り 民謡クラブ 講談 車椅子ダンス 認知症予防音楽体操	介護福祉サービス研修 褥瘡予防研修	サービス担当者会議 医務室会議 フロアー会議 デイサービス会議 デイワーカー会議
6月	災害時安否確認メール訓練 日本舞踊 民謡クラブ 講談 車椅子ダンス キーボード演奏 認知症予防音楽体操	食中毒予防研修 身体拘束廃止研修	ショートステイ会議 ヘルパー会議 給食会議
7月	踊り 民謡クラブ 講談 車椅子ダンス 変わり湯 おやつバイキング 認知症予防音楽体操	疥癬予防研修	[週1回開催] ケアマネ会議 [各利用者年2回]
8月	夕涼み会 民謡クラブ 講談	リスクマネジメント研修	ケアプラン会議

	キーボード演奏 認知症予防音楽体操		委員会
9月	敬老会 彼岸供養 踊り 葛西臨海水族園外出 車いすダンス 総合防災訓練 民謡クラブ 講談 買物DAY 認知症予防音楽体操		[月1回開催] 入所検討委員会 身体拘束廃止委員会 衛生委員会
10月	千葉市花の美術館外出 日本舞踊 民謡クラブ 講談 車椅子ダンス 職員健康診断 キーボード演奏 変わり湯 花見川区民祭り 認知症予防音楽体操	看取り介護研修	[年6回開催] リスクマネジメント委員会 [年4回開催]
11月	夜勤帯防災訓練 民謡クラブ 講談 車椅子ダンス 踊り 認知症予防音楽体操	インフルエンザ研修 ノロウイルス予防研修 MRSA 対応研修 身体拘束廃止研修	感染対策委員会 医療的ケア対策委員会 [年3回開催]
12月	クリスマス会 餅つき ゆず湯 夜間通報訓練 日本舞踊 講談 民謡クラブ キーボード演奏 車いすダンス 認知症予防音楽体操	咽頭物除去研修	褥瘡対策・排泄委員会 [その他] 行事実行委員会
1月	新年会 獅子舞 踊り 講談 民謡クラブ 車椅子ダンス 認知症予防音楽体操	医療的ケア研修 褥瘡予防研修	防火管理委員会 入浴委員会 生活・給食委員会
2月	節分豆まき 車椅子ダンス 民謡クラブ 講談 キーボード演奏 おやつバイキング 認知症予防音楽体操	リスクマネジメント研修	環境委員会
3月	さくら祭り 彼岸供養 踊り 民謡クラブ 講談 車椅子ダンス 認知症予防音楽体操	認知症ケア研修	